



IFALPA SECURITY Committee 出席報告

2011年6月20日から22日の3日間、London, HeathrowにてIFALPA Security Committeeが開催され、ALPA Japanからは丸山 Security 委員長、加藤 IFALPA Security Committee Vice Chairman の計2名が出席。今回は新たに選出された Chairman、Craig Hall (ALPA International)のもとでの最初の Committee となり、参加14ヶ国、21名により各国の Security 関連の現状報告、情報交換、また問題等への今後の対応について論議がなされた。

また2日目の Social Event の席上、前 Chairman の Nico Voorbach (Dutch ALPA)、並びに今回の委員会を最後に退任される加藤 Vice Chairman に対して、長年の Committee に対する功績を称え贈答品の授与が行なわれた。

<ICAO 関連>

ICAO DOC. 9957、Facilitation Manual が新たに発行され、SEC 関連については、Advanced Passenger Information (API)、Passenger Name Record (PNR) についてのガイドラインが示されている。

ICAO Cargo Meeting

貨物機に対する Security 対策向上の一環として、航空貨物に関わる Security 上の取り扱い定義に”HIGH RISK CARGO”が付け加えられる予定になっている。

2010年10月のイエメンにおける貨物専用機爆破テロ未遂事件以降、貨物機に対する Security 対策強化の必要性から、IFALPAにおいてもSEC Committee内に Working Group を立ち上げ、問題点の分析、対応策の検討に入ることとなった。

<IATA AVSEC 関連>

AIRBUS 社は、Laser Attack 対応型の Windshield 製作について、既に Manufacture と協議に入っている事を明らかにした。但し、現段階においては、航空会社側からの開発要請等はなし。

<Laser Attack>

欧米各国においては相当数の報告例が上がっている。一部の国においては Control Tower に対する照射報告もあり。各国で航空機及び乗客に危険を及ぼす行為として既に逮捕者が出ているが、各国とも法整備の必要性に迫られている。ドイツにおいては警察による取締りが強化されると共に、国内の特定空港において照射発生時、Crew-ATC-Police Department といった連携の上に成り立った Reporting System の試験的運用が開始されている。

(次頁へ続く)



Committee 内においても議論が交わされ、全世界共通の Reporting Form の作成、ATC へ報告を行なう場合の Phraseology の必要性等が意見として挙げられた。
また照射後の医療支援についても、今後の検討課題となっている。

<Body Scanner>

EU 圏内の状況

EU Transportation Committee により、Screening 機器として正式に承認されているが、その運用に関しては、健康問題、個人情報、プライバシー、画像の取り扱い等、基本的な人権を配慮した上での厳格な規則が適用されている。

また使用についての強制力はなく、あくまで旅客にその選択権が委ねられているが、英国 Manchester 空港において旅客が装置の使用を拒否したところ、Security restricted Area への立ち入りを拒否された事例も報告されている。

米国内の状況

TSA(運輸保安局)により積極的な導入が図られている。EU と同様、旅客に使用に関する選択権が与えられており、また、厳格な規則の元に運用され、妊婦、子供は対象外となっている。

Crew Member (DH Crew を含む) についても、TSA との取り決めにより使用が免除されている。過去に検査終了後にもかかわらず画像消去がなされていなかった事実が発覚し、Media により大きく取り上げられた。

ALPA Japan からは、Body Scanner に関わる日本国内の状況として、2010 年 8 月に機器の試験運用が行なわれた旨の報告を行なった。

<AREA OR AIRPORTS WITH REPORTED SECURITY RISKS>

Afghanistan、Iraq を含め、新たな Security Risk は報告されていない。Bagdad 周辺の状況については、Lebanon ALPA より報告が上がる予定。

Libya、Syria については、今後の状況を見極め上で、Security Risk が存在する空港としてリストアップするか否かの論議を行なう。

<新役員選出>

会議最終日、新 Vice Chairman として、Capt. Agustin Guzman (Spain ALPA)、Capt. Max Thomson (Australia ALPA) の 2 名が選出された。

<次回委員会開催について>

次回は委員会の Workload に配慮し、Chairman Request の形で、10 月下旬の開催を予定している。

(以上)